

令和4年度 第1回 浜松市立神久呂中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年5月26日（木） 午後3時00分から午後4時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立神久呂中学校 南校舎2F 会議室
- 3 出席委員 池谷昭広、 原田功、 谷井文明、 新村貴文、 長尾良夫、
池谷友美子、 野中祐典、 内藤由美香
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 内山安史（校長）、榊原早苗（教頭）、中島潤（CS担当）
加藤六明（CSコーディネーター）、森田美和（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川誠司（浜松市教育委員会教育総務課）
- 7 傍聴人 なし
- 8 オブザーバー 村松俊司（神久呂協働センター長）
- 9 協議事項
 - (1) 校長あいさつ
 - (2) 任命書（学校運営協議会委員）の伝達
 - (3) 自己紹介
 - (4) コミュニティ・スクールの説明（教育委員会）
 - (5) 会長の選出
 - (6) 副会長の指名
 - (7) 議長の選出
 - (8) 熟議 ①学校運営の基本方針について
②夢育やらまいか事業に対する意見書（案）について
 - (9) 第2回学校運営協議会開催予定について
 - (10) アンケート記入
 - (11) 連絡事項
- 10 会議録作成者 CSディレクター 森田 美和
- 11 会議記録

司会の中島から、委員総数8人全員の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 校長あいさつ

創立76年の歴史あるこの中学校で、コミュニティ・スクールを立ち上げることができ、地域の方々との繋がりを大切にしながら学校運営に反映していければ嬉しく思う。

(2) 任命書（学校運営協議会委員）の伝達

任命書を各委員の席に配付し伝達とした。

(3) 自己紹介

1回目の会合ということで、参加者全員が、住んでいる地域、学校や地域との関係性などを手短かに自己紹介した。

(4) コミュニティ・スクールの説明（教育委員会）

教育委員会の小川誠司様より、浜松市学校運営協議会規則に基づき、コミュニティ・スクールの重要内容についての説明があった。

(5) 会長の選出

原田委員より、池谷委員を推薦したい、との提案があり、それに対し池谷委員は、学校の為に協力し、会長職を受託する旨が伝えられた。また、全委員が賛同し、池谷委員が会長になることを承認された。

(6) 副会長の指名

池谷会長から原田委員が指名された。原田委員が受託し、全委員が賛同し、承認された。

(7) 議長の選出

今回は初めての協議会の為、池谷会長が自ら議長を申し出て、全委員が賛同し、承認された。

(8) 熟議

①学校運営の基本方針について

校長より「令和4年度 浜松市神久呂中学校 学校経営案」に基づき、今年度の学校経営について詳しく説明があった。

・学校運営の基本方針を聞いて、意見や質問、疑問など

谷井委員：学校運営の説明の中でSDGsで文房具を回収していると聞いたが、その後どのようにしているのか。

校長：昨年度は文房具やタオルを集めて、NPO法人を通して必要としている所に送る活動をしている。

谷井委員：竹に関わる授業をしているので、それを生かし文房具と一緒に竹細工など地域性を加えたらどうか。

長尾委員：民生委員として子供達とのかかわりを考えている。ボランティアと一緒に遊ぶなど子供達と一緒にできることを大切にしていきたい。

野中委員：忙しい中ではあるが、教員も学校業務の負担を軽減し、心の健康も維持し、生徒への気配りや配慮などに尽くしてもらいたい。

新村委員：学校基本方針の何を承認すればよいのかわからない。

校長：主に校訓が一番大切にしていること。その次に教育目標が大切であるが、今回は学校経営案での本校の取り組みを承認していただきたい。

池谷会長：学校のランドデザインで具体化している。

新村委員：その様なことから、やらまいか事業に繋がっていくのか。

中島：それについては、②で説明させていただきたい。

池谷友委員：主任児童委員として子供達の見守りをやってきたが、コロナになってからは何もできなくなってしまった。地域の幼、小、中学校の子供達の為にみんなで一緒に何かできることを模索している。まだ決まっていないが協力してもらいたい。

内藤委員：コロナ禍で行事などのやり方など柔軟性をもって対応してもらいたい。

校長：コロナ禍での行事の実施例としては体育大会と文化発表会の実績があるが、令和2、3年度は制限が多く、学年ごとの開催だったり無観客で行ったりしたが、今年度はできるだけ全校で、有観客で行えるように考えている。

原田副会長：1小1中の地域で9年間同じ仲間と過ごすので、意識的に序列化してしまうのでは。分かり合える仲間だから意見を積極的に発言しない環境なのではないか。道徳教育も大切にいただき、高校に行って新たにできる仲間と積極的に行動できる力をつけてもらいたい。

全員の意見を発言した後、学校運営の基本方針が承認された。

②夢育やらまいか事業に対する意見書（案）について

中島から夢育やらまいか事業を具体化するための説明があった。

子供のために地域事業の学習、教員の負担軽減、子供の力を伸ばす目的で行う。

1年：農家や工場などの見学の場を設置する。

- ・若い教員が増え、地域の方々と連絡を取り合うことが難しくなっている。

2年：職業や仕事についての体験や知識を増やす。

- ・1学年同様、地域の方々と連絡を取り合うことが難しい。
- ・コロナ禍で老人ホームや医療関係の職業体験ができなくなった。

3年：高校入試などに向け、外部人材による面接練習を行いたい。

- ・教員とは異なる地域の大人に指導を受け、適切な発言の仕方を学びたい。

意見書（案）に対する意見

新村委員：小、中学校で通学途中のあいさつを心掛けているが、学校で勉強ができる子ほどあいさつができない子が多いと感じる。人間性、社会性を育てる観点から、3年生の面接練習では自己主張ができるように育ててあげるのがよいのではないかと。

池谷会長：地域性を生かした事業で協力していきたい。

谷井委員：時期、時間など予定はどうなっているか。

教頭：1年生は10月～11月の総合的な学習の時間、金曜日午後の総合的な学習の時間で考えている。

2年生は11月24日、25日の2日間を予定している。10月、11月の総合的な学習の時間で職場体験へ向けたマナーや心構えなどを勉強していく。

3年生は3学期に様々な進路が決定していく生徒が多いので、1月、2月の放課後、金曜日の午後などに面接練習をしたいと考えている。知らない方と面談ができる、とてもよい機会になると思う。

谷井委員：職場体験の交通手段はどうするのか。

教頭：公共交通機関か徒歩でと考えている。

池谷友委員：スムーズに意見が言えるように3年生だけでなく、1、2年生もやったらどうか。

校長：1、2年生でもマナー講座を実施し、あいさつやマナーなど人とのコミュニケーションの取り方を学んでいる。

内藤委員：学校行事等でリーダーを務めた経験のある生徒は意見が言える子が多いと感じる。

様々な場面でリーダーの経験をさせることが大切だと思う。そのような場を作って頂ければありがたい。

野中委員：PTAも声をかけてくれれば協力させていただきたい。

長尾委員：学校から声をかけてくれれば私も協力したい。

「夢育やらまいか事業に対する意見書」が協議の結果、全員異議なく承認された。

(9) 第2回学校運営協議会開催の予定について

司会から、次回会議は、令和4年8月8日（月）午後1時30分から会議室で開催する旨の報告があった。